

こども環境管理士資格試験 参考資料・参考書籍

ここでご紹介する資料・書籍は、こども環境管理士の基礎的な知識や考え方を学ぶためのものです。筆記試験では、単に知識だけでなく、実践的な内容についても問われます。特に1級を受験される方は、日頃からさまざまな実務経験、自然のなかでの経験を重ねることが大切です。

●『こども環境管理士資格試験 合格したい人のための学習のポイント』

(公財)日本生態系協会(無償 / 公式サイトでダウンロード)

受験をお考えの方には、まず最初にお読みいただきたい冊子です。過去問題も少数、ご覧いただけます。

●こども環境管理士資格試験 過去問題

(公財)日本生態系協会(無償 / 公式サイト『エコネット会員のページ』でダウンロード)

過去3年度分をご覧いただけます。解答用紙とともに、プリントアウトも可能です。なお、無償の会員制度『エコネット会員』へ登録が必要です。

●『幼稚園教育要領』および解説

●『保育所保育指針』および解説

●『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』および解説

子どもと自然との触れ合いについて明記されている箇所を中心にご確認ください。

●『環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書』

環境省のサイトに掲載されています。近年の環境問題についてご確認ください。

●書籍『環境を守る最新知識』[第2版]

(財)日本生態系協会 編著、信山社 刊、2,100円(税別)

私たちの生活の基盤となる自然のしくみ、社会のさまざまな問題点、環境問題を解決するための考え方についてご確認ください。

●書籍『新装改題版 学校・園庭ビオトープ 考え方 つくり方 使い方』

(財)日本生態系協会 編著、講談社サイエンティフィック 刊、3,200円(税別)

子どもたちが日常的に自然と触れ合える場所『園庭ビオトープ』に取り組む際の基本的な考え方についてご確認ください。

●書籍『野外における危険な生物』

(財)日本自然保護協会 編監、平凡社 刊、2,000円(税別)

園庭ビオトープなどの身近な自然にくらす、危険な生きものについてご確認ください。

2018年5月2日(水)更新

※ これらのほか、環境に関する時事問題が出題されます。